

# マホメット Muhammad 571?~632

神の使徒、「アッラー」の預言者、イスラーム教の祖。ムハンマドともいう。

マホメットは、6世紀の終わりにアラビア半島の中央部メッカに大きな勢力を誇っていたクライシュ族の有力者ハーシム家に生まれた。幼くして孤児となった彼は、商人であった父方の叔父に引き取られ砂漠を横切るキャラバン隊に同行し、25歳のときには40歳の豪商で未亡人のハディージャと結婚して幸福に暮らしていたという。

マホメットは40歳の頃、メッカ郊外にあるヒーラ山の洞窟にこもり瞑想することを習慣としていたが、611年、天使ガブリエルが現れて、「マホメットよ、汝はアッラーの使徒なり。われはガブリエルなり。誦(よ)め！創造された汝の主の御名によって。主は凝血から人間を創りたもうた、誦め！汝の主はいともこころひろき方、筆とるすべを教えたまい、人間に未知のことを教えたもうた」(『コーラン』96 凝血の章)という啓示を初めて彼に与えた。こうして、マホメットは自分が預言者として選ばれた者であり、神の言葉を伝える仲介者であると確信することとなった。

彼の口から発せられる言葉は、聞いた者を強く惹きつける文体と韻律をもち、読誦によりその音楽的美しさがアッラーの存在を認識させたという。この彼の言葉を集めたものがイスラーム教の聖典『コーラン』である。『コーラン』にはアラビア語で「声を出して朗誦する」の意味がある。

マホメットは多神教徒の反撃を受けながら布教活動を続け、630年にメッカを無血征服し、カーバ聖殿の黒石を除いてすべての偶像を廃した。632年、メッカへの最後の巡礼を終え、6月8日に没した。

## Great Books 17 コーラン(al-Quran)

唯一神「**アッラー**」からマホメットに下された啓示は、美しい散文詩体と韻律からなるもので、砂漠を旅するペドウィンたちの心を強く惹きつけた。そしてこの啓示は、心を動かされた者達によって、樹液をインクにしたアシの茎を尖らせたペンにより、革の切れ端やナツメヤシの葉、石版などに書き留められた。

現行『コーラン』(クルアーン)の底本は、3代カリフ(後継者)のオスマンにより結集されたもので、114章からなり、長いものを先に短いものを後に編集されている。終わりのほうに収録されている初期の啓示は、イスラーム信仰の真髄を顕す美しい韻律の短い宗教詩である。また「メディナ啓示」とよばれる啓示は、マホメットがメディナに移ってイスラーム国家建設のために立法者・政治的指導者として活動した時期のもので、倫理・法律等・俗的生活を規定する現実的な内容である。

世界で最も広く読まれているのはキリスト教の『聖書』であるが、最も頻繁に(1日に5回の礼拝)読まれているのは『コーラン』である。現在10億とも13億ともいわれているイスラーム教徒にとって、『コーラン』は経典であり、法典でもある。イスラーム教徒は、生きることのすべての規範を『コーラン』におき、魂の平安を求めているのである。

## Key Word アッラー(Allah)

イスラム(al-Islam)の信仰対象はいうまでもなく神という実在的一大霊格である。この神はアッラー(Allah)である。

この語は、世界のイスラム教徒によってそのまま広く用いられている。それと共に各民族のそれぞれの国語における神体を意味する語も併用される場合もある。例えば、トルコ語のタンリ(Tanrı)、ペルシャ語のフダー(Khuda)の如きはそれである。中国イスラム教徒は、他宗の神々と区別するために、「真主」、「真宰」等の語を用いている。

一神教の中でイスラムほど、神の一元性を力説するものはあるまい。神の唯一無二であるという教えは、実にイスラム信仰の根底をなすものであって、この真理はコーランの到る所において力強く説かれている。それを最も簡潔かつ直截的に教えている代表的聖句はコーランの第112章「一元」(Sureyihlas)であろう。

大慈大悲のアッラーの御名において、

のべよ、アッラーは唯一なるものなり、  
アッラーは一切を護るものなり、  
アッラーは生みしこともなく、生まれしこともなし、  
アッラーは比ふべきものなしと、

即ち、上の僅か四節の中にイスラムの一元性が正しく元現されているのである。即ちイスラムにおいては神は唯一無二、無始無終にして、生まず、生まれざる完全無欠なる必然的存在である。しかして、この四節に説くが如く、アッラーの唯一なるは算数の意でなく、対を絶せるを意味し、更に、権化の思想をも拒否するのである。かくて我々は「一元」の章において、イスラムがアラビア人の原始教における多神、ゾロアステル教の二元神、ユダヤ教の民族的な一元神、キリスト教の三位一体、即ち三元の一神に対して純正一元神を説いていることを知るを得るのである。かくて「アッラーの外に神なし」はイスラム信仰の第一義となったのである。

< 大久保幸次，鏡島寛之(著) 『コーラン研究』 刀江書院 >

## ◆ *Great Books* 文献案内

- 📖 コーランを読む(岩波セミナー・ブックス) / 井筒俊彦(著)  
岩波書店 1983年刊 462p <167.3/5> 資料番号 12317095
- 📖 世界の名著 15 コーラン / 藤本勝次(編)  
中央公論社 1970年刊 566p <080/5/15> 資料番号 21489984
- 📖 コーラン(岩波文庫) 上・中・下 / 井筒俊彦(訳)  
岩波書店 1957~1958年刊 <167/1/1~3>
- 📖 コーラン研究 / 大久保幸次，鏡島寛之(著)  
刀江書院 1950年刊 3,290p <167.3/1> 資料番号 10249548

## ◆ 理解を深めるために 参考文献案内

- 📖 イスラムの時代(講談社学術文庫) / 前嶋信次(著)  
講談社 2002年刊 438p <227/114> 資料番号 21464813
- 📖 ムハンマド(Historia) / 小杉泰(著)  
山川出版社 2002年刊 206p <167.28LL/2> 資料番号 21540364
- 📖 メッカ(岩波新書) / 野町和嘉(著)  
岩波書店 2002年刊 188p <292.78LL/2> 資料番号 21530936
- 📖 イスラーム教を知る事典 / 渥美堅持(著)  
東京堂出版 1999年刊 344p <167HH/114> 資料番号 21209366
- 📖 イスラム教入門(岩波新書) / 中村廣治郎(著)  
岩波書店 1998年刊 224,18p <167GG/112> 資料番号 21012752
- 📖 講座イスラーム世界 第1巻~5巻 別巻 / 板垣雄三(監修)  
栄光教育文化研究所 1994~95年刊 <167CC/105/1~6>
- 📖 マホメット(「知の再発見」双書) / アンヌ・マリ・デルカンブル(著) 小林修(訳)  
創元社 1990年刊 198p <167.28Z/1> 資料番号 20269890
- 📖 オリент史講座 第4巻 カリフの世界 / 前嶋信次(ほか編)  
学生社 1982年刊 226p <209.3/37/4> 資料番号 12329827
- 📖 預言者マホメット(角川新書) / 嶋田襄平(著)  
角川書店 1966年刊 220p <167.2/3> 資料番号 10249506
- 📖 世界文学大系 第68巻 アラビア・ペルシア集 / 蒲生礼一(ほか訳)  
筑摩書房 1964年刊 442p <908/18/68> 資料番号 11873031